

西中だより

平成27年度 No.25
平成28年 1月28日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& まちの先生から裁縫を教えてもらいました &&&

- 1月12日から合計5回（10時間）にわたり「はたけんぼ」を中心に活動する「知恵袋の会」の皆様をまちの先生としてお迎えし、2年生の生徒達が家庭科の授業で作品作りに取り組みました。まちの先生からは、基礎縫いの技術やミシンの操作を分かりやすく指導していただき、生徒達は楽しく作品作りに取り組むことができました。製作過程において、生徒達は説明書の通りに作成しようと試みましたがなかなか上手いきません。会の皆さんからは、縫い方やトラブルの解決方法について長年の経験に基づいた貴重なアドバイスをいただきました。お陰様で予定よりも早く仕上げることができました。

【知恵袋の会の皆様】

- ・小枝友子様（代表）、安田きよ子様、渡辺三起子様、深谷ヨシイ様、岩谷恵津子様、佐藤慈子様



＃＄＃ 各部の「今年の抱負」を紹介します（前号に続く） ＃＄＃

- ◇ **吹奏楽部**：「今年の抱負は、昨年の大会で悔しい思いをしたことをバネに一生懸命練習し、県大会へ出場することです。毎日の練習を、自分達の技術向上が分かるようなものにし、常に目標を高く持って頑張っていきたいです。」
- ◇ **美術部**：「今年の抱負は一つでも多くの賞を取るためにみんなと仲良く活動し、部員一人一人が自分の目標に向かって、一生懸命活動に取り組むことです。そして、文化祭など美術部が主になって行う学校行事では、みんなで協力し合い、最高の作品を残したいと思います。」
- ◇ **バレーボール部**：「今年は部員全員が“優勝”という目標を強く持ち続け、一人一人の技術をさらに高めて、一つでも多くの喜びをつかみたいと思います。そのために一生懸命に練習したいと思います。」



《 校長のつぶやき 》・・・福島県学力調査結果（2年生）について・・・

- 本校では4教科（国語・数学・理科・英語）の目標値（学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合に、正答できることを期待した児童生徒の割合で県教委が設定した数値）が、須賀川市、県中地区、福島県の数値を全ての教科で上回っています。（大変よい結果でした。）
- 2年間の期間でここまで伸びた要因を生徒達の日頃の生活の様子から気づいた点を私なりにいくつか述べてみたいと思います。
- ・授業では4人一組のグループを基本として、主体的・対話的な学習を行ってきました。自分で考え、判断し、発表する機会がこれまでより多くなり、認め合い、教え合う場面が増えたこと。
 - ・先生と生徒のやり取り（学習面、部活動面、生活面）が真剣であること。
 - ・先生のアドバイスを素直に聞き入れ、学習や部活動、諸活動に生かし、最後までねばり強く取り組む生徒が増えてきたこと。
 - ・各学級や部活動の様子を見ると、明るく、元気に、規律ある雰囲気を感じられる。
 - ・先生方が“生徒を中心”において考え、真摯な態度で授業や部活動などに取り組んでいること。など
- 学校に寄せていただく保護者の皆様のあたたかい支援とご協力に心から感謝いたします。 —